

まちづくり特別委員会

送付 2 1 - 7

東日本旅客鉄道（株）に公に開かれた説明会を求める陳情

受付年月日 平成 2 1 年 6 月 3 日

陳 情 者 東京都千代田区鍛冶町 2 - 8 - 1

平 野 恵 一

## 陳 情 書

### ( 陳情の要旨 )

千代田区議長におかれましては、日ごろ地域区民の生活と街づくりのためにお力添えをいただき感謝申し上げます。

かねてより神田駅周辺の住民に様々な不安、不信のもとになっている「東北縦貫線高架化計画」は、現在アプローチ部の工事が行われ、重層化部分を着工するところまでに至っております。

私は以下の理由から上記説明会の開催を求めます。

### ( 陳情の趣旨 )

1 . J R 東日本は平成 1 7 年 1 2 月 1 7 日千代田区神田さくら館における説明会で、「環境アセスメントが終わった後、何回も地元の皆様に説明会を開く予定です。重層部に関して今は決定していませんが、実行段階で説明をいたします」と述べており、現段階がその時期であります。

2 . 平成 1 9 年 8 月 3 日、千代田区議会は東北縦貫線に関する 5 件の陳情を受け、議長名を以って「陳情者をはじめとする地域住民や関係者に誠意を持って丁寧に説明すること。併せて神田駅周辺地域の環境整備についても十分配慮していくこと」を主旨とする要望書を、東日本旅客鉄道株(以下、J R 東日本と記す)代表取締役提出して下さいました。

しかしながら、J R 東日本は地域住民の再三の申し入れに対して、環境に影響のある重層化部分については、一度も説明会を執り行っておりません。これは千代田区議会と住民の要望を無視していると言えます。

3 . 特に重層化工事隣接地に住む住民は、神田駅周辺直下が軟弱地盤であることに對し、災害時の被害拡大の不安と恐れを抱いています。

なぜなら、重層化工事の事業認可を行った国土交通省関東運輸局の説明によれば、構造計算書や地盤地質に関する調査資料は事業者(J R 東日本)が公的機関に提出する義務は無いとのことであり、(平成 1 2 年 1 1 月 1 7 日付通達)第三者が安全性の検証を行うシステムになっていないからです。

平成 1 6 年 4 月に 1 0 7 名の死者を出した J R 宝塚線(福知山線)脱線事故の恐怖は、いまだに私達の記憶から拭い去ることはできません。

鉄道の安全性に関する検証は、現在の事業者の自己審査に任せる手法では乗客、及び、地域住民の安全性を確保することはできません。

そのためには、公共機関をはじめとし、第三者が客観性を持ってその安全性を検証できるよう、これらの調査資料が公開されるシステム変更が必要と考えております。

4 . 重層化部分の工事着工前に、地域住民に資料を公開し「東北縦貫線重層化部の公に開かれた説明会」を行うことは、貴議会と住民の要望に沿っており、J R 東日本にとっても工事の安全性を広く地域に情報提供できる機会だと考えます。

以上、ぜひこの件を J R 東日本に働きかけていただきたく陳情いたします。

平成 2 1 年 6 月 3 日

千代田区議会議長  
桜井ただし 殿